

東京大学大学院農学生命科学研究科  
木材利用システム学寄付講座  
2020年度成果報告会

木材利用システム学研究室は、農林中央金庫のご寄付によって、2016年10月に東京大学アジア生物資源環境研究センターの寄付研究部門として設置され、2021年4月から大学院農学生命科学研究科の寄付講座となりました。当研究室は、木材の加工・流通・利用の環境貢献、経済効果、社会影響評価、マーケティング、政策等に関する研究を行い、新たな研究領域として木材利用システム学の確立を目指とともに、産官学の連携を推進するための活動を行っています。この度、2020年度（2020年10月～2021年9月）の研究活動内容を報告し、皆さまからご意見、ご指導を賜るため、下記の通り、成果報告会を計画致しましたので、案内申し上げます。

～ 記 ～

- 日時： 2021年11月25日（木）：13時00分～15時30分
- 主催： 東京大学大学院農学生命科学研究科木材利用システム学寄付講座
- 後援： 木材利用システム研究会
- 会場： ZOOM オンライン開催
- 申込方法： 下記のGoogle Formのリンク先から参加登録をお願いします。

<https://forms.gle/MS7zuS3vEqDKggdAA>

～ プログラム（予定）～

- ご挨拶 農学生命科学研究科長 堤 伸浩
- 木材利用システム学寄付講座における研究および活動プログラムの成果 教授 井上雅文
- 研究プログラム① 木材利用の環境・経済・社会影響評価（長坂健司）
  - ・木材産業の分析に適した拡張産業連関表の開発：プレカット材部門の新設 博士課程3年 森井拓哉
  - ・木材関連企業のSDGs情報の開示が株主価値に与える影響 特任助教 長坂健司
- 研究プログラム② 木材および木材製品のマーケティング（幡 建樹）
  - ・未利用木質バイオマスの持続可能な利用：一般廃棄物発電への混焼 博士課程3年 泊みゆき
  - ・ウッドショックから見た日本の木材流通構造の課題 特任研究員 幡 建樹
- 研究プログラム③ 木材利用促進に関する政策、人材、消費者理解等（知念良之）
  - ・市区町村本庁舎の木造木質化に関する政策形成過程：委員会議事録の分析 共同研究員 栢野旭代
  - ・国産材の利用拡大に資する県産材の定義の検討 博士課程2年 河村奏瑛
  - ・アジアにおける森林および木材利用に関する消費者の意識と知識 特任研究員 今村航平
- 総括 特任教授 永田 信

★プログラムの最新情報の確認は、研究室HP（<http://smd.anesc.u-tokyo.ac.jp/>）からお願いいたします。

お問い合わせ：

担当：長坂健司（[nagasaka@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:nagasaka@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)）

幡 建樹（[hata@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:hata@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)）

知念良之（[chinen@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:chinen@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)）

東京大学大学院農学生命科学研究科

木材利用システム学寄付講座

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1, 7号館B棟-438

Tel: 03-5841-7506 Fax: 03-5841-0915

